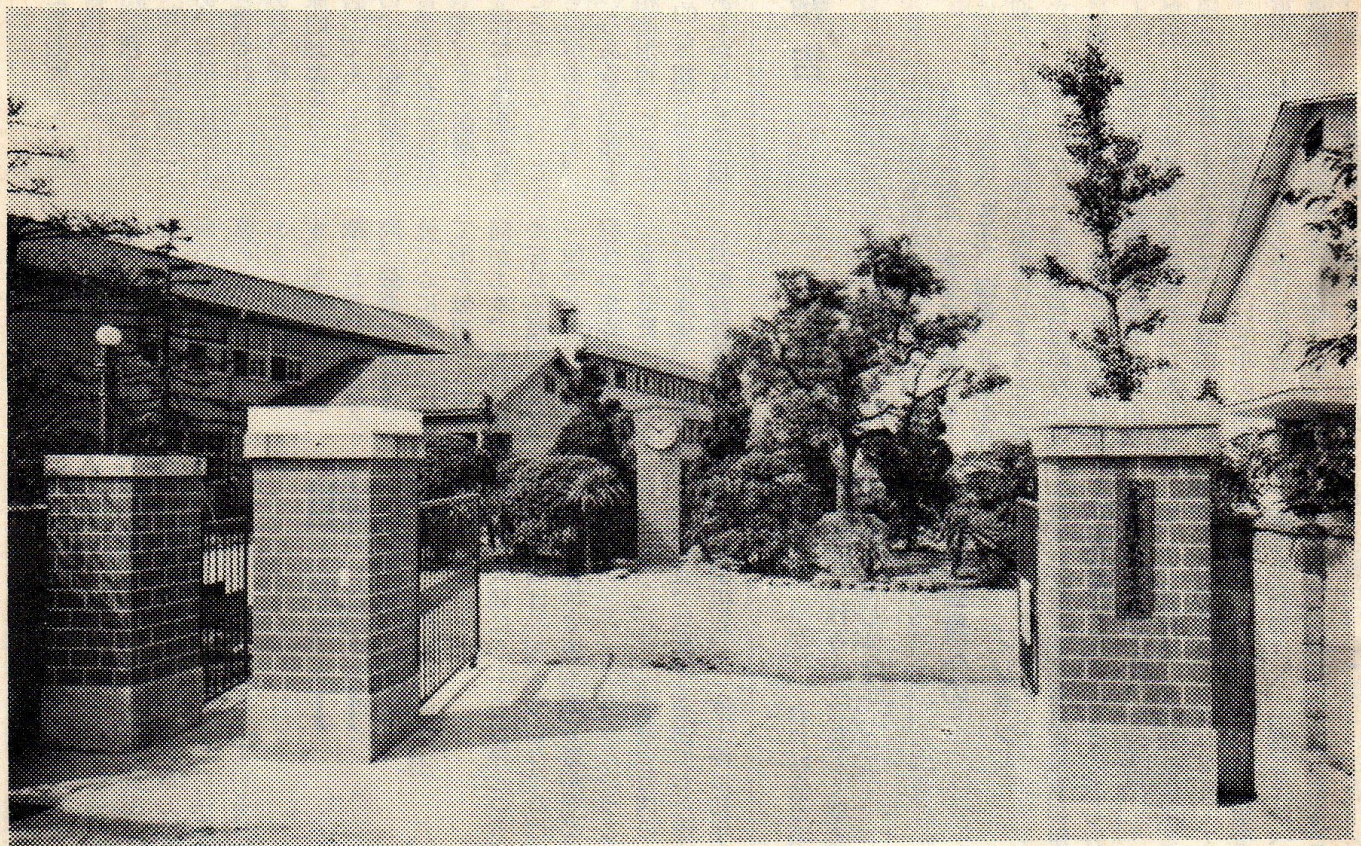


報 春 会 占

1968年5月1日発行



占春会報発刊のことば

会長 羽田 敦

同窓会報が欲しいですね、と云い、早く出せるようになりたい、といつから願っていたことか……母校三代の校長先生も、歴代の会長、役員、そして三千人に及ぶ会員諸姉も思いは同じであったと申せましょう。

いまようやく年一回の会報発行を可能にする経済的ゆとりを得、実行力あふれる若いスタッフの協力によって会報第一号を皆様にお届けできることになりました。占春会のこれまでの成長をご一緒に喜びたいと思います。

同窓という一本の糸は環境や年令をこえて人の心を固く結び合わせるものであります。会報によって、ついでにがさたしがちの母校の現況や卒業生の活躍を知ることが、母校と会員、そして会員相互の心のつながりを一層強めることであり、ひいてはそれが占春会発展のエネルギーともなるであろうことを期待してやみません。

題字は現校長富田八郎先生から頂きました。

総会のご案内

五月十九日(日)

PM二時～三時三十分

於 母校講堂

プログラム

第一部

富田校長あいさつ

新入会員歓迎の辞

〃 入会の辞

会長 あいさつ

第二部

ポピュラーコーラスパレード

出演

片岡通昭とクール・ボナール

曲目

ヒットパレード

君といつまでも

恋のフリーガー

ブルージョットウ

ミュージカルメドレー

トウナイト

一晩中踊りたい

その他

歌唱指導

てのひらに太陽を

お友達お誘い合わせ、お子様づれで楽しくお集りください。クラス会のお申込みがあれば教室を開放して頂きます。占春会寄附の中庭も美しい新緑です。

ご紹介

クール・ボナールは、いわば和製ミッチーミラー合唱団です、関西のポピュラーコーラスグループとして有名。労音、TV、ラジオで大活躍のことはみなさまご存じのとおりです。

校長随想

白隠禪師の師である正受老師のところへ、或日一人の僧侶が自作の仏像を持つてその開眼を頼みに来た。頼まれた正受老師はしみじみとその僧の顔を眺めて「仏像を彫るよりもなあ、お前の面をも少しなんとかせんか」と言われた。

面はわれわれの相であり、相とは自己実現のもの。如何に抽象的理論をうまく言っても高遠なことを言っても、もつとも具体的な人間そのものの、その表現であるところの相、それは見る人から見れば、直ぐわかるのであって、その面構えが悪かつたら、いくら立派な仏像彫刻を作ったところで大したことはない。この一言骨身にこたえるものがあります。

さてその相にもいろいろあるが、頭とか目鼻とかに現われる相は形相、これは表面的なもので、静止的な相であります。然し人間は動物であるから、この相

は動いている。動くというと歩く相、坐する相、怒る相、笑う相泣く相、食う相と千差万別すべてに相が現われて来る。従つて抽象的内面的な学問をして内から修めてゆくことも必要であるが、外から修める、形から入つてゆくことも大切であることも確かである。処が日本人の誤つた常識では学問、修養というと直ぐ心に結びつけて形を無視する傾向があり、また、形を重んずる人間は心を忘れる傾向がある。本当の学問は心相一如でなければならぬ。その意味で表柳莊の相書に次の句がある。

女人七賢
行歩周生。面円体厚。五官俱正。三停俱配容貌嚴整。不泛言語。坐眠俱正。

相と行

社長 富田 八郎

女性の賢さについて観察される七つの要素がある。「行歩周正」周はあまねしで円と同じ。まるみがあつて正しい。「面円く体厚し」薄相はどんな美人でも薄命である。「五官ともに正し」五官みなそろつていゝ。「三停俱に配す」停はとどまる、つまり釣合

いのとれておるのと。人間の顔は、眉毛から上を上停、眉の下から頤までが下停、その中間を中停という。この三停の釣合いがとれないければいけない。額が豊かなれば、頤も豊かでないならぬ。とにかく釣合つということが大切であります。美人薄命の原因の一つは頤が細くなつて、卵を逆にした形になるからであります。大體上停は初年中停は中年、下停は晩年を

表わすから、おとがいが細いということは晩年が寂しいということ、逆に下が豊かということは、晩年の豊かなことを表わしている。そこで下ぶくれの女のこをとお多福という。然し、そのお多福も円相、厚相でなければいけない。だから同じ美人でも俗眼の美人とは違う。「容貌嚴整」「言語を泛にせず」くだらぬことをべらべらしゃべらない。言葉は少なめに、しつかりした言い方をする。「坐眠俱に正し」坐相は自分にも分かるが、眠相は人にみてもらう外はない。これが七つの条件でこれが整つておれば立派な女性として差支えない。その外に

平素不與争競。苦難中無怨言
節飲食 聞事 不驚喜 能尊敬
これは別に解説するまでもないと思う。只人を敬する心があつて進歩向上があり恥づる心が發展して自ら律し、自ら警しめる。

行事報告

芝生のみどり萌え 出るを待ちつつ

去る昭和四十一年、母校では創立二十五周年、市立十周年を迎えることになりました。昭和十六年戦雲ただよう最中に高安の里に開校、戦火の中に揺籃の時を過し、有為転変の幾年を経た母校の歴史を思う時、この隆盛と発展は限りなく喜びでした。

母校ではさまざまな記念行事が計画され、P・T・Aでも図書館食堂を寄贈されることになり、四

十一年二月末に完成を見ました。占春会でも何かの施設を贈りたいと相談の結果、新築の校舎に面した中庭に、芝生、藤棚、花壇を作つて皆の憩いの場にしようということになり、早速皆様に呼びかけましたところ、総額二十九万三千七百三十円が集まりました。旧職員中岡博美先生御経営の日本花壇KKの手によって、昭和四十二年春には、中庭に美しい芝生の庭園が出来上りました。その後、園芸部の原田彰先生や生徒方に、水やり除草など面倒を見ていただい

おります。やがて、春の総会の頃には芝生も浅みどりに美しく萌え出ることでしよう。

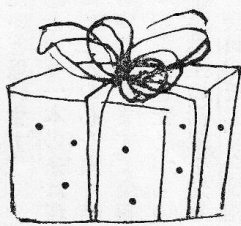
新会員へのプレゼント

四十二年度の主な行事は夏の伊吹山納涼ドライブと、春の話し方教室と二つでした。

話し方教室は、今年社会に出る新卒の方々へのプレゼントとして三月二十二日甲南女子大の西垣瑩子講師をお招きし、「話し上手への道十章」と題して・魅力あることばと豊かな心・美しいことばの

急のことで旧会員の皆様のご参加は頂けませんでした。が、要望があれば来年も開きたいと思ひます

ので次回にはぜひ多数ご出席ください。



記念式典

三十三年卒

阜山 玉子

さる昭和四十一年十月七日に、創立二十五周年、市立十周年記念式典が講堂に於いて盛大に挙行されました。

学園の喜びの日を祝うがごとく空は雲一つなく晴れわたり、道々には木せいの花が薫る中に、八尾市長はじめ、府会議員市議員、教育関係者、各界の名士、学校関係者とおよそ来賓は百名余り、午前十時きっかり満場の拍手で式は始められました。

今は亡き吉持前校長の祝辞に続いて来賓、PTA、占春会の祝辞が感激をこめて続く中を、フラッシュが光り、長かった苦境の才月を、今日この日に、感慨無量の面持で迎えたのであります。

この後新築された食堂で、PTAOB清苑会による祝賀パーティが開かれました。数多の思出ばなし、これからの夢あれこれと、歓談の時はつきませんでした。が万才を賛唱した後各々、今後の学校発展を祝して乾杯し、十二時過ぎに無事終了致しました。

占春会祝辞

輝く日に

透きとおる喜びが
いまここに満ちている

虹のような未来への祈りと

ひたむきであった過去へのいとおしみが

あなたのわたしの
胸のうちに溢れている

人の心の中に芽生えた種

それがどんなふうにも成長し、どんなふうにも実るかを、わたし達は今眼のあたりに見ているのだ

高安の里は
日本の夜明けの日の物語りに

早くもあらわれてくる所だ

この美しく由緒あるふるさとに種は根をおろし、けんめいに生きて来た

嵐がすさび
雪が降り
ひでりがあった

稚い樹が苦しみにおしつぶされようとした時、優しい心が集まってがっしりとした支え木となった

いま若樹はすくすくと伸び
梢は晴ればれと天を指し
深くおろした根は

ずっしりと
年月の重みを受けとめている
みんなが育てて来たこの重みこそ

そのままわが学びやの歴史であり
未来への礎ではないか

若いきょうだい達よ

この礎の上に
誇りに立つのはあなただ

高く広く、羽ばたくのはあなただ

歴史の作りては人であり
人は歴史を作ることによって自らを創るといふ

あなたの今日は
学びやの今日であり

あなたのひらく未来は
学園の明日ではないか

今を ゆたかに生きるがいい
若さのエネルギーを惜しみなく
燃やすがいい

あなたの幸せな青春が、今日からの学園の歴史にまた美しく重ってゆくように

きょうだい達よ
今日の喜びの中で私は
つたないけれどこの詞を
あなたに捧げる

長い年月
わが学びやのために
いとしい娘たちのために
限りない愛と 力強い励ましを与えて下さったすべての方々の前で

一期生 羽田 敦



涼しさ一〇〇%の 伊吹山ドライブ

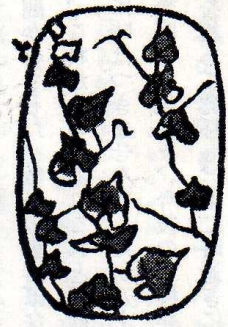
三十四年卒

土井 章子

七月三十日(日)占春会臨時の催しとして伊吹山ドライブが行われました。バス一台を八尾駅前から、もう一台を上六駅前からと会員の便宜を計り二台に分け、旧職員・職員方初め会員七十名が参加致しました。

車中久し振りに逢った先生方と職員会員との話があちらこちら聞かれ、話がつきぬままに美しいバスのガイドの説明もそこそこに、三

時間余りで名神高速道路、関ヶ原から伊吹山のヘヤーピンカーブでスリルを味わいました。「眼下には雄大な濃尾平野を見おろしているうちに山上に到着……。」「そこで記念写真を写した後、山を各自で散策しました。「山上は美しいお花畑で高山植物が吹き乱れていました、昼食も広々とした高原でおいしくいただき楽しい笑いが山々にこだましていました。「午後二時過ぎに伊吹山を後にし、楽しい思い出の一日を終りました。(写真は宗平先生のお嬢ちゃん智子ちゃんと、内田先生のお嬢ちゃん千景ちゃんです)」



母校だより

教頭 小西 康弘

待望の同窓会新聞が発行される事になり皆さんの母校の現況をお伝えする事が出来るのを大変うれしく思います。

ここ数年間、本校も高校生急増期の中を通りかなりの変容がみられました。参考までに最近十年間における生徒数、校舎施設、職員数等変化の状況をお知らせします
まず生徒数では

- 三十三年四月 三九九人
- 三十五年四月 五七七人
- 三十八年四月 七三八人
- 四十二年四月 九〇四人

と急激に増えてきました。通学区域別では、八尾市が大半であと東大阪市、大阪市、柏原市、松原市と云う所からの生徒が多いようです。

次に校舎施設では

- 三十五年六月 最初の鉄筋校舎 (北館) 竣工
- 三十八年二月 鉄骨体育館兼講堂竣工

三十八年四月 鉄骨校舎増築 (調理、美術、社会、特別教室) 竣工

四十年十一月 鉄筋三階建校舎 (南館) 竣工

四十一年二月 鉄筋二階建食堂

及図書館竣工

四十二年四月 中庭庭園完成 (同窓会協力による)

以上のような状況で以前と比べ見違える程立派なものとなり、あとは本館の鉄筋化をまつのみとなっております。

一方職員数では

- 三十三年四月 二十八人
- 三十五年四月 三十三人
- 三十八年四月 三十八人
- 四十二年四月 四十九人

となり大幅にふえました、この間吉持先生が四十二年四月に退職され (別掲のように七月に御逝去) 富田教頭先生が校長として就任されました。一方そのほかにもこの間やめられた先生、新しく入られた先生と可成りの異動もありました。

したが、現在十年以上おられる先生、職員では、西沢、吉田、松尾安田、内田、宗平、籾、原田、南条 (山田) 逸民、岡、五十嵐、松本 (事務) 石谷 (校務員) それに私ぐらいです。

さてこの辺で本年の本校生の進路について申しますと

- 卒業生 三〇九名
- 就職者 一九二名
- 進学者 六二名
- 家事従事 (洋裁学校等をふくむ)

五五名

となっており、

主な就職先では

- 三和銀行 (5) 大和銀行 (4) 協和銀行 (4) 三越 (4) 野村証券 (6) 三木楽器 (3) 三井物産 (2) 住友銀行 (2) 豊田通商 (2) 三井銀行 (2) 東洋紡 (2) 蝶理 (2) 八尾信用 (2) 資生堂 (3) 八尾市役所 (2) 八尾農協 (2) 近畿相互 (2) 帝国産業 (2) 日本化薬 (2) などです
- また進学先では
- 四年制で
 - 関西外語 (3) 大阪商大 (2) 武庫川大 (1) 近大 (1) 大阪音大 (1) 大谷大 (1)
 - 二年制で
 - 成蹊短大 (9) 常磐会短大 (2) 関西外語 (6) 武庫川短大 (5) キリスト教短大 (3) 帝塚山短大 (2) 四天王寺短大 (2) 関西女子学園短大 (2) 樟蔭女子大学別科 (2) 桜井女子短大 (2) などが主なところ です。

就職の方は大体満足すべき状況にありますが進学の方はまだまだまだの感があり、今後共一層の努力をして行きたいと思っています。

運動場が整備され昨年から体育大会が再び本校で行われる事になりました。文化祭も年々充実して来いています。

体育大会は九月二十九日 (日) 文化祭は十月五、六日 (土・日) です。そのとおりには出来るだけ母校を訪ねて下さい。



→ 富田校長を囲んで



故 吉村先生

前校長吉持博 先生のことども

前校長吉持博先生には、昭和四十二年一月より病臥の身となられましたので、清友に心残しながら三月末学校を退かれ、御療養遊ばされておりましたが、病にわかにならぬと、昭和四十二年七月三日遂に御他界なさいました。

先生は大正五年より五十余年の長きにわたり、教育一すじに生きてこられた真の教育者であります。昭和二十八年生田鹿之丞先生のあとをうけて、清友学園高等学校の二代校長として、苦境にあつた学園をせおって立たれ、昭和三十一年八尾市立清友高等学校として新発足を見るまで、言語に絶する御苦労と献身的な努力を重ねられ、着々と発展の基礎を築かれました。清友高校の今日の栄えはひとえに先生のこの御苦労の賜物であります。

このように不撓不屈の強い精神力を持たれた先生は、また内に深い教育愛を湛えた真摯なお人柄でもあり、毎日先生に親しく接する生徒達は、知らず知らずのうちにその大きい力に導かれて居りました。先生は四月八日離任式の挨拶

で、第一に女性の特性を知り、女性としての使命を果すこと、第二に物事を正しく判断し処理し自分の責任を果すこと、第三に他人を責める前に自分をふりかえることについて話され、最後に「私は清友をこよなく愛する。」といった話を閉じられました。

その後、御療養中の先生をお慰めしようと、占春会はP・T・A清苑会の方々と心をあわせ、カーンテレビをお贈りしました。殊の外喜んでいただき、親孝行をしたような喜びを味ったのも束の間、七月三日ほんとうに思いがけなく遂にお亡くなりになったのでした。

あれから早半年、事につけ折にふれ、先生の事が思い出されますが、とくに学校の苦難をのりこえて発展の基礎をつくって下さった御苦労と、「私は清友をこよなく愛する。」という残された、清友へ寄せる深い愛情とを忘れることはできません。

吉持前校長を偲んで

三十年卒 前田 千恵

ふり返ってみますと、十余年前まだ清友学園高等学校と云っていた頃、生田元校長先生の後任として吉持前校長先生が赴任されました。ほんとうのところ、校長先生とは、とっつきにくい、縁の遠い人だ位にしか感じませんでした。けれども、清水谷高校の数学の先

生だったという経験を私達にも分け与えて下さいました。暖かい大きな力ではぐくまれた学生生活はいつの時代になっても決して忘れる事が出来ないと思います。十余年の間には、幾多の困難がありました。八尾市立になる頃は学校にとって最大の分岐点だったと思います。この重大な難局を乗り切る為の御心労、いかばかりであったらうと、今さらながら感謝せずにはおられない気持ちです。

時代も流れて、今では八尾市立清友高等学校として、立派に日進月歩を続けている事は、ほんとうにうれしい限りです。学校にも一つの歴史を作ったのだと思います。先生御生前の言葉に「強く、正しく、朗らかに」と云うのがあります。忘れられない言葉です。

先生御生前の御努力を、無にする事なく、皆で力を合わせ、益々実を結び、美しく花を咲かせるよう、希望致しますと共に、先生の御冥福を心よりお祈り致したいと思ひます。

吉持先生を憶う

四十二年卒 岩原 睦美

目を閉じると、私達の卒業式のあの日、名前を呼ばれる毎に立ち上がる卒業生の一人一人を、壇上でじっと見ておられた瘦身長軀の吉持先生の面影が、鮮かに浮んできます。ああ、その先生にも今は

もうお目にかかることはできません。

五十有余年の永きにわたって教育の仕事に携わり、その大半を女子教育に捧げてこられた先生は、昨四十二年三月、私達の卒業を見送って清友をお辞めになりました。その後一時御快方に向かわれたようにおききましたが、遂に七月三日お亡くなりになりました。晩年の先生は、ご健康がすぐれなかつた上に校舎増築のことや生徒の民主化運動の問題などで、そのご心労は私たちの想像以上だったと思います。まだ思慮のたりない私たちの勝手な言い分をじつと聴き終え、静かに道理を説いて教えて下さった先生が、なつかしく偲ばれますが、あれやこれやのご心労が、先生の寿命をちぢめたのではないかと心が痛みます。ご勇退直前には、ご病気の体をおして卒業式にお出ましになり、最後まで校長としての責任を果されたのでした。

先生はご退職後、八尾市の育英資金と、清友高校の図書館に二十万円を寄贈されました。清友では吉持文庫として生徒の勉学に役立つ百科事典を揃え、永く先生のご遺志を記念することになりました。ご逝去後、生前、教育に尽瘁

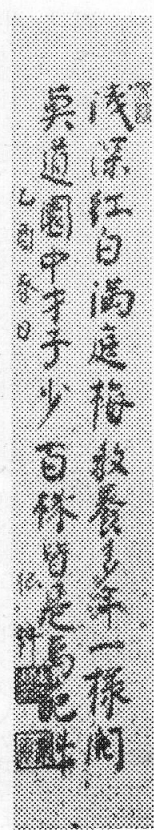
された功勞として正五位勲四等旭日小授章を受けられました。私たちは母校清友に遺された先生の大きな足跡を偲び、そのご冥福を心からお祈りしたいと存じます。

占春会のいわれ

名づけの親は初代校長生田鹿之丞先生でいらっしやいます。一期生百名が栄えの卒業式を迎えたのは戦火の中の昭和二十年三月三十一日、大空襲の余燼未だ覚めやらぬときでありました、厳しい世相に堪えぬいていま果立つ愛むすめたちにふさわしい名をとお考えになった先生は、清友の象徴梅花に因み水戸烈公の梅花の詩から採って占春会と名づけられた由です。

このとき記念に詠まれたのが次の詩であるとうかがっています。

浅深紅白満庭梅
教養多年一様開
莫道園中才子少
百株皆是萬葩魁
手塩にかけた娘たちを、春のさきがけとして、紅白とりにどりに咲く梅になぞらえて、「園中才子少なしというなかれ」と祝福してくださいました。



永井 潔先生

占春会には、年々、新会員を迎えられ、益々発展され、この度は会報を発行される運びとなりました。大慶至極に存じます。

お聞及びかと思いますが、私は八年前に、軽い脳溢血で、日赤病院へ入院いたしました。現在なお、その後遺症の為に、左半身不自由な生活を、余儀なくされています。病氣養生専一にと、永年住み馴れた八尾をはなれ、空気のよい当地宝塚へまいりました。

当時は家も少なく、色々の野鳥が庭に来てくれたり、美しい自然の草花が見られました。四、五年前から、段々、家も増してきて野鳥も山奥へ逃がれたのか、数少なくなりました。それでも、私の家は割にめぐまれた所にあり、近所からも離れていて、とても静かです。これから時候もよくなり、桜の花も咲き出すと、ハイキング等の行楽客も多くなりますが、それらも二段上の坂道を通り、家の前の道は自動車も通りません。

清友学園の附近も、すっかり変わったことでしょうか。時折り懐しく思い浮べています。しかし、電車にも乗れず、歩く事も困難です。大阪音楽大学の理事として卒業式などへ行く時には、自動車に身体障害者用の、折畳式手押車を乗せてもらって行くような次第です。だから、めったに外出はいたしません。

教え子や、卒業生の方々が下さるお便りなどに力を得て、古稀を迎えた今でも、まだまだ気持だけは若く持って居りますから御休心下さい。

桜が咲き出すと、宝塚は明るくなります。皆さんグループでハイキング等なさる時は好適地かと思えます。そんな時はお寄り下さい。ついでに、当家の道順を書いておきます。

阪急梅田駅より神戸行き特急に乗車し、西ノ宮北口で阪急今津線宝塚行きに乗換えてから四ツ目の小林駅で下車。(一方出口)駅のうしろを左へ斜めに横切ると、大きな池に出る。その池に沿ってまわると、電車の踏切に出る。それを越して左へ三間ほど行くと右へ曲る道あり(角にタバコ屋あり)それを真直ぐ突当りに、上の坂道へ登る石段が見える。その段々の右角の家です。小林駅から二、三分の巨離です。踏切を越して左へ行くアスファルト坂を登ってはいけません。その堤下の道です。

住所 兵庫県宝塚市千種一丁目一七番五号
勤務先 大阪音楽大学理事

高平 好子先生

すっかりご無沙汰にうち過ぎております。占春会には、益々ご発展にて、およろこび申上げます。

住所 堺市浜寺諏訪ノ森町中一丁目二ノ四
旧姓 尾崎

原田 正憲先生

女房健在。小生微在。直子誕生(昨年六月)希再会。乞連絡。本年中に、個展を開く予定であります。

住所 大阪市旭区今市町二ノ一九
勤務先 大阪府立桜塚高校

恩師の近況

西沢、吉田

信貴の遠山を眺めつつ、のんびり歩けた高安道が、はげしく車のゆきかう舗装道路に変貌するまで二十幾年の間に送り迎えた先生方はもう何十人の多くに上るでしょうか。この度会報を発行するにあたり、その近況をお願いいたしましたところ、左の先生方からなつかしいお返事をいただきました。お忙しい中からお便りをお寄せ下さった御懇情を感謝するとともにあの日、あの時をなつかしみつつ読まれる皆さんを思い浮かべ、そのおたよりを掲げます。

津田 精先生

私は、昭和二十七年に退職いたしました。昭和二十七年、北海道で十年と、息子の勤務と共に、暮らしてまいりました。北海道は夏は涼しく、冬は石炭が豊富で、まことに暮し易く、楽しい十年間でしたが、寄る年波で、身体の自由のきく間に、京阪の地に帰りたいと思っていましたところ、ここ京都向日町に、幸いにして家がありましたので、帰ってきました。

この向日町は、私が最初に教員生活をしたところで、学校は、郡に一つという大きな学校で、その頃の教え子は、今五、六十歳になり、郡全体にそれらの人々が居ますので、楽しく、安心して、隠居さん然として、暮らしていますから、どうぞ御安心下さい。

西村喜美子先生

春と申しながら、珍らしく雪の日が続きます。皆様様ご機嫌よろしく存じます。平素はすっかりご無沙汰致して居りますが、占春会には、年々ご発展の程、およろこび申上げます。私ことおかげさまで元気で、何かと雑用に追われながらも、毎日結構楽しく過して居ります。時々清友学園のことあのあたり一帯広々とした河内野の四季折々の景色を、なつかしんで居ります。と申しましても、あれからもう十有余年にもなりますから随分変わりました事です。皆様様のご健康、ご多幸、占春会の弥栄をお祈り申し上げます。

住所 大阪府乙訓郡向日町森本小字下森本一番地

鉄谷 博先生
鉄谷 佳子先生

尼崎産業高校は、百二十名の職員と、千五百名の生徒から成っています。現在、電気科長をしています。普通の高校と違い、ホーム・ルームの教室以外に、一例をとれば、電気科だけでも二十一の、実験実習室が、三階建てで独立して存在しています。電子工学、自動制御、高圧、電気機器、照明、音響化学等の各実験室。また、視聴覚室製図室、交電室等があり、それらの管理が仕事です。技術者の卵の養生に、頑張つて居ります。一度見学に見えと、何かの参考になると思っています。

清友の先生方、並びに卒業生諸姉のご健勝をお祈りいたします。住所 大阪市天王寺区堂ヶ辻町六八

勤務先 尼崎市立尼崎産業高等学校

岡田 アイ先生

毎日とは平々凡々、家事にはげんでおります。たまに、異人さんの案内をおおせつかり、京都、奈良伊勢などへの思いがけぬ小旅行を楽しみます。

春と秋には山へまいります。といても、穂高方面では涸沢、立山方面では雷鳥沢のあたりを、リュックをせおつてうろうろするよくな事でございます。勉強の方は、むつかしいものはさっぱりで、アガサ・クリイステ

イ、エド、マクベインのものなど読み、ガードナーのペリー、メイスンものは、三十冊近くも読んで自慢のような、恥かしいような、話でございます。(三月九日)

住所 八尾市山本町四丁目一四

木下はるい先生

学校のご発展、誠に同慶にたえません。何しろ、学校創立の当時、初代校長生田先生のご依頼により勤務させていただき、また校務員和泉様ご夫妻のご紹介を申し上げ、極く僅かで退職し、家庭の守りと、社会と共に生きて来まして。

今や、子供の世話も終りましてほっといたしましたら、六十二才となり、今一度すぐる月日は取り戻せませんが、心を新たに、一生の、小さいながら自分の仕事に、趣味に、みがきをかけるため、四月より二ヶ年の研修を致すべく、準備いたしております。ただ張切っております。子供は六人です。

住所 南区中寺町十八の三

福泉寺内

豊田 恭持先生

占春会益々ご発展のご様子を承り、嬉しく存じます。小生も愈々古稀の齢を迎え、近年とみに脚力衰え、余り遠出は来ません。近くでもステッキ持参、本場に時の経つのは早いものです。

住所 大阪市旭区橋寺町三七一一七七

河崎 孝弘先生

春寒料峭の候、貴会愈々ご隆昌の段、大慶に存じます。いつも行事、お催しの際にはご案内をいただき、感謝しております。

折につけ、お伺いしたいと思いつながら、小生奈良県卓球協会の仕事(理事長)をしておりますものですから、日曜日は殆んど行事に追われ通しで、失礼してあります。

当時のなつかしい先生、卒業生の方々に、お目にかかれる機会をたのしみにしておりますので、いつかは念願が果たされることと思えます。皆様よろしく。

住所 奈良県天理市勾田町一八〇
勤務先 天理大学体育学部事務主任

深沢三千男先生

母、妻、男の赤ん坊一人と、四人暮しです。

清友高の頃の、のんびりした暮しを懐んでいます。

先日、妻の兄の勤務先の会社を訪ねましたら、清友の卒業生二人と邂逅して、びっくりしました。

住所 大阪府富田林市錦ヶ丘町五番十七号
勤務先 武庫川女子大学文学部

山家鉄五郎先生

休養生活として、どこへも出ずやっております。

住所 八尾市本町北四丁目二五

石田恒治郎先生

時候も春らしくなつてまいりました。皆々様には御無事にて御暮しのことと拝察いたします。

私は、最近弱くなつて、遠出は一寸出来なくなりました。奈良へ御越しの節に、お立寄り下さいませ。

住所 奈良市南新町一三六

前 順子先生

ご無沙汰ばかりいたしております。二月六日に男の子が出来ました。最近、秋田犬の大きなのを貰ひまして、上の三才三カ月の男の子と、急に三人の子供が出来たように、忙がしくなり、テンテコ舞いしております。

広橋はこれから梅がきれいですので、ご希望の方、ご案内いたします。(三月末)

住所 奈良県吉野郡下市町広橋

末 トマ先生

還暦から十五年も過ぎましたがまだ元気で、週四日、講師として勤務中。子と、その配偶者計七人

孫十人。福岡、養老、東京に離れており、此の家は、戦死した長男の嫁と、その娘、そして老夫婦と四人暮し。但し会報御発行の頃は三人になります。

顧みますと、昭和二十一年生田校長様のもとに勤めさせて頂いた頃が懐しくなりません。

住いは、山本駅近くでしたが、

農協の建物で日光を奪われましたから、中野荘と呼ばれていた地へ転居いたし、老人に相応しい環境を賞でています。

住所 八尾市西山本町四丁目六五
勤務先 樟蔭東高校

荒井 伸一先生

最近、暇をみつければ、田圃の中の野池で、鮒を釣つて居ります。丁度今、新生中学一年生位の腕前です。

散髪屋さんに、「おつむにチラホラ白いものがみえ出しましたね。」と言われますが、往年、高安から学校までよく走つた元氣は現在もそのままです。

住所 枚方市禁野本町二丁目十一番一三三号
勤務先 大阪外国語大学

西岡都久路先生

私は、故生田校長先生のご在職当時、約五年間余、清友学園にお世話になりましたが、退職してから十年余の歳月が、夢のように流れて去つてゆきました。

現在、大阪女子短大附属高校で美術を担当して勤務して居りますが、も早老年に達したので近く学校を退職して、好きな絵筆を友として、晩年を送りたいと思つています。

住所 大阪府松原市上田町一七八
勤務先 大阪女子短期大学附属高校

金沢 和雄先生

ついこの間(二月二十五日)卒業生を送り出して、ほっとしております。一年からの持ち上りの生徒でしたので、一抹の寂しさを感じています。と同時に、卒業生の健康と幸福を祈っています。

教科は国語、主として古典を教えています。時々、生徒とテニスをしますが、乱打では打ち負けます。(年のせいかな?)しかし試合は老練のものにいわせて、まだまだひげをとれません。清友のOGの皆さん。一度母校のコーでト集まってやりたいものです。

占春会の皆さん方、どうしておられます。よき奥様の、よきママの幸便をお知らせ下さい。

最後に、占春会の弥栄を祈つてやみません。(三月二日記)

住所 西宮市上甲東園三丁目六四
勤務先 兵庫東神戸高校

山崎 澄子先生

清友とお別れして、まもなく四年目を迎えようとしています。以前と交らず、元気に過して居ります。長男は今春小学校へ、次男は幼稚園へ、それぞれ入学、入園いたします。宇宙ロケットや怪獣など、二十一世人とのつき合いも、楽ではございません。

学校では、エネルギーな生徒達に励まされて、がんばって居ります。

住所 吹田市山田町11の30
勤務先 大阪府立茨木高等学校

加藤 秋子先生

清々しい友の満ちあふれた、清友高校とお別れして以来、はや六年の歳月が流れました。当時生まれました長女も、この四月より一年生だと、はりきって居ります。

当地で生まれました長男も、幼稚園児(三年保育)になりますので私も、結婚以来はじめて、午前中の数時間だけ、一人きりの静かな生活をもてそうです。これを契機に、何かまとまった事でも、と望んでいます。なかなか果せそうにありません。

二、三年のつもりで転動してまいりましたが、やはりスケールの違う本社は、居心地がよいらしく主人がなかなか腰をあげてくれませんので、まだしばらく、東京住いがつづきそうです。

皆様方と遠く離れて居り、なかなかお目もじの機会がなく残念ですが、時折いたたくお手紙や、旅行の途中、わざわざ立寄って下さる卒業生の方や、ご主人の転動で当地に転宅していらっしゃった方が、子供づれで訪ねて下さったりし、学校の様子や、皆様方のご様子、承っております。

何時か、帰阪できました際には占春会総会に出席させていただきます。今からたのしみに致して居ります。

皆様様が、それぞれによき奥様よきお母様、よき職業人として、ますますご活躍下さいますよう、念じつつ。

住所 東京都調布市若葉町一の二七の二

内田伊都子先生

(旧羽瀬)

三十八年に教職を離れまして以来、ずっと今日まで、主婦としてのつとめに専念致しております。

二人の娘も大きく成長致しましてこの四月には長女が三年生、次女が幼稚園に進むまでになり、育児に追われておりました私にも、時間的にも余裕が出来てまいりましたので、色々な勉強や、趣味を楽しむ日々を送りたく存じております。

住所 大阪府茨木市戸伏二二九の二
二総持寺公団住宅21号103

本田 勝久先生

博子先生

学校をやめましてから、倉敷、西宮、新潟、札幌、釧路と廻り、只今岐阜に居ります。最近では「転動も又楽し」と、本当に全国各地の風物、人情を深く味わいながら暮らしております。でもやっぱり北海道がなつかしいです。

長女小四、長男小三になります。私は、羽仁もと子先生の「友の会」に入会、一生懸命「思想しつつ生活しつつ、祈りつつ」の毎日が過せるよう努力中です。

岐阜は、山紫水明、有名な長良川の近くで、都会にもこんな、空気のいい所がまだあるのかと思う位。昔学校の前の川が、もつ

と美しかった頃の高安を、なつかしく思い出しながら、それでいてやはりもう少し都会的な所です。こちらへいらっしゃった時は、お立ち寄り下さいませ。

住所 岐阜市長良区正賀四の二
勤務先 住友生命保険相互会社
岐阜支社

櫻根千代子先生

母校の発展と共に、占春会もいよいよ盛況の由、はるかに喜びに存じます。春寒未だ肌にしみる昨今ですが、早咲きの梅は春にさががけ、やがて桜花らんまんも春も間近に――

教職をはなれて既に十余年、現在は家庭のおばあちゃん、街のおばさんとして、元気に暮して居ります。生来が働き好きの私ですから、地域の婦人会、日赤活動には惜しみなく微力をいたして居ります。最後に占春会のいやさかをお祈りいたして居ります。

住所 大阪市生野区東桃谷町一丁目五八一七

中村 邦治先生

子たちはそれぞれ別居して、今は年寄二人に犬一匹の、静かな毎日であります。

古い友だちは十中八九、すでにあの世ですが、私は急がないことにしています。しかしただ生きのびて、ぶらりと暮らしては、相済まないことだから、ひとつ力

をのみようかと思うこともありませんが、今更さっぱりです。

ご憫笑のほどを。それはさて、私は大いに伸び行く占春会をみて格別嬉しく、蔭ながらいつもお慶び申上げている次第でございます。不。

住所 八尾市光南町二一三一一〇

佐伯 忠男先生

占春会の皆様、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。小生も、おかげ様で元気に勤務致しております故、他事ご安心下さい。

自然の環境に恵まれ、静かな住宅街に位置し、勉学に運動に、格好の清友高校にお世話になっていた時代を、なつかしく想いふけている昨今でございます。

ただ、ともすれば現時点において、自分の環境として与えられている自然や、社会機構の恩恵を、感知し得ない人間の本性(特に個人)を、あわれにさえ思えてまいります。

皆様方のご健康とご多幸を、祈り上げます。

住所 東大阪市中小阪二一七
勤務先 大阪府立堺工業高校

赤羽 吉子先生

悠々自適。明治、大正、昭和と移りゆく世相を、面白くもかしこくも、あかず眺めつつ、余生をたのしく送って居ります。

住所 大阪市住吉区浜口東二一六

(以下14ページにつづく)

親子二代清友に学んで

高女一期生

秋本智勢子

清友に娘が入学してより早や三年、あの入学式の当日、私のように深い感激を胸にひめて母校を訪れたものはないだろうと存じます。清友の歩みについて校長先生のお話を聞いていますうちに、ふ

と思いは二十幾年の過去に引き戻され、信貴生駒の連峯を仰ぎながら、のびのびと学び、暖く育くまれた追憶がよみがえって

清友だより

現校長のお顔が、在りし日の温厚な生田校長や、厳しく優しくした八雲先生に変わって見え、感動の涙があふれ出て、次々に紹介される先生方のお顔も見えないほどでした。

思いかえせば、苦しい日々もございましたが、また楽しく誇りたい学生時代でした。創立当初、俊徳道の仮校舎で家族的な師との交流の中でのびのびと学び、やがて高安の現校舎が完成し、移転した喜び、また戦時下、ともに汗を流して作った甘藷を校庭で分けあった感謝と喜びは格別でした。その後清友の運命もどうなるかと胸を痛めた一時期がありました。私は地元におりましただけに、辛い思いの中で、清友の成り立ちを知らない方達に力説して、清友の存続を祈ってまい

りました。この間、先生方の御苦労はいか程でございましたでしょうか、あれやこれやを思いかえし感激も新に、晴々とした気持ちで我が子の入学式を終えたあの日の感激は一生忘れ得ないことでしょう。

私達の健康のためにと父が求めてくれましたこの高安の地に、娘が四才の時から再び住むことになり、娘は清友幼稚園に入りまして。娘も清友との結びつきは古うございます。有本先生から、いつも多津子は孫のように可愛がって

いただきました、親子とも、よき先生に導かれほんとうに幸福な私達でございます。私の郷土に、母子二代の母校、心のふるさとを得て、これからいかなる人生の苦しみ、喜びの折でも、このふるさとを忘れることはないでしょう。娘が清友に学ぶようになりましてから、娘と共通の話題を持って年を忘れる幸福感をしみじみと味わっています。そしてもっと嬉しいことは、娘自身我が清友を誇りにしている

ことでございます。娘が誇りを保持って学ぶことができますように、母校が年と共に新しい歴史を作り立派に発展してまいりました。その蔭には涙ぐましい先生方の御苦労がありましたことと、ただただ感謝のみでございます。まだまだ書き足りない気持ちでございますが、母校の発展と諸先生方の御健康とを祈りつつ拙い筆をおきます。

(秋本さんのお嬢さん、多津子さんは今三年に在学です。この一文は只今病氣療養中の智勢子さんが病院よりお寄せ下さったものです。病中にも拘らず、私の依頼をお引き受け下さった御厚意を感謝すると共に一日も早くお元氣になられるよう祈っております。西沢)

幸せな私

40年卒 Y 子

「私一年×組の〇〇ですが貴女は何組ですか」真白い白線のセーラー服の少女が話かけて来ました。もうずーっとずーっと昔の事です。制服を見れば判りそうなのをと、高三の私はその人を非常にうらめしく思いました。桜の咲く頃に成ると私は毎年の様にあの時のうろたえた自分の姿を面白く懐かしく思い出します。

思えば学校生活が嫌に成ったなんて日記に書いた日の有ったことなど今から考えればまったくウソの様なものでもない気がします。早いもので卒業してもう数年にも成ります。その数年という歳月がいやというほど私に、社会という物を勉強させてくれました。幾度となくつまづき、ころび、傷つき、人間って、何の為に生きているのか」とも考えずにはいられない事も有りました。一人ではとうてい崩すことの出来ない厚い壁では有りますが、

おばさん(元校務員 和泉アイさん)

を訪ねてあげて!!

清友の名物夫妻だった和泉のおじさんとおばさんには、よくメンドウをみて頂きました。

校庭をコロコロ仔犬のように走り回っていた一年生の時からすっかりおすまじやの女学生になり、ちよっぴり娘らしくなっていたの卒業まで全部知られていたので、どうも頭が上がらない懐しい方の一人です。

おじさんは早くに亡くなられましたが、おばさん(アイさんは万博の地千里山の一隅にある

弘済院で今年八十才を迎えられました。二度ほどおたずねしましたが、卒業生のだれかれのこと、先生方のことをほんとになつかしそうに話しておいででした。

今は少し健康を害され、弘済院内の病院に入院しておられますけれど、日ましに快くなられている様子です、もしお近くへお越しになった時は立寄ってあげて下さればきつと喜ばれると思います。

弘済院は吹田市 阪急北千里駅から循環バスで弘済院前です。 高女一期生 寺島 悦子

今私は自分なりに少しづつ掘り始めています。幸運にも念願の職場に入れて、新入生の様に張切っていることです。学生時代から取り得一つ無い私でも好きで選んだ道だけは一生かけても悔いのない様で有ってほしいのです。それから私は月に一回いらいら解消法としてハイキングに出かけます。一人であれあれ計画を練る楽しさ本当に素晴らしいものです。女のことですから本当のハイカーの様などいごみはとうてい味わえぬかもしれませんが、最近では山で会う人達への挨拶も、笑顔で大きく言える様になりました。あれは紀泉、葛城のコースでしたが、早目に下山したつもりがバスとの連絡が悪く、知らぬとは言えバスでも一時間以上もかかるといふ道のりを、夕日のさし始めた頃山一つ越えて歩くつもりでした。途中で親切なトラックの人に拾われ寒さと不安でくたくたでした。今でも夕日に照り映えた柿の実の美しかったこと。目に浮かんで来ます。行きたい所に行き、見たい物を見、したいことをし、結構今の生活に満足しています。春の訪れを誰よりも誰よりも一番望んでいる私です。

クラス会を

憩いの場として

四年間毎日となえた八綱領―良妻賢母のお教え―にしたがい、ワキ目もふらずホーム作りと子育てに励んで、ヤレヤレ子供に手がからなくなったトタン、懐旧の情が湧きおこり、「いっぺん集ってダベろうやないの」と衆議一決、十五年ぶりのクラス会をひらいたのが三十九年夏、出席十六人

野さんをはじめ、中島、塚本、中山、田中(重) 黄瀬、御宮司、永野、田中(幸) 羽田、科埜さん 東京から日帰り出席の高橋さん、十六年ぶりに顔をみた岡田、松浪のお二人と、計二十人の賑やかさでした。

昔日の面影なくお優しくなられた西沢先生を囲んで童心にかえりました。それから毎年一回集るたびに、卒業以来はじめてというメンバーが二、三人加っていつも十五六人の出席があります。四十二年秋にはグラン

おかしいのは、昔先生が「ちょうど今、私の年は皆さんの二倍になるの」とおっしゃった一言を奇妙に皆が覚えていることです、「あの時は確か十三くらいだったから、すると先生は今」と数えはじめののだけど、ついにかんじようしたことなし、「そのころの先生より年とっちゃったわけね、私達は」で申し訳ないです。

清友だより

ドホテル地下の竹葉で開催、皆出席の定連松谷、寺島、矢

何の心配もなく喋れるおつきまいはこの年になるとザラにはありませんが、そののできるクラス会ってほんとにいいものです。「行ってつまらなかつたワ」と淋しい思いをする人がないようにと

清友とともに

西沢 小枝

この道に生きむ思ひのさだまりて二十余年はしづかに過ぎし清友はわがいのちなり半生を清友とともに生きて来しはやくいくたびかつまづきありし清友の今日の栄えのありがたきかもうつりゆく姿のなかにひとすじのまこととどめて
過ぎむとぞ思ふ
若きらの心にのこる一粒の種となりなば生くるかひあり

の、西沢先生の優しいお心づかいが、私どもの集まりをこんなに楽しいものにさせているのですが、もう一つ、おたよりをいくらさし上げてでも返事をくださらない方にもめに連絡をとり続け、行方不明の方の住所をあれこれと苦心して尋ねあてて下さった寺島さんの蔭の御努力に一同感激しています。おわりに「いろ組」の方々もご参加いただいたのが「ろ組」全員の声ですとつけ加えて筆をおきます。

一期生ろ組四十二年幹事
長谷川喜久子
岡橋 久子



戦後の歩みがここに...
西沢先生と二期生

勉強の連続が

人生なんです

40年卒 藪 テル子

毎年この時期になると、電車内で緊張した面持ちの新入社員らしき人を見かけます。そしてそんな時、この人もまた、社会に出ていろんな経験を成長していくのだなあと思うのです。

早いもので、私が清友を卒業してから、もうまる四年というものが過ぎてしまいました。わずか二年たらずの会社生活でしたが、私は私なりにいろんな面において良

勉強になったと思います。甘い考えだった学生時代とは一転して一人の社会人として仕事に自分の行動に責任を持たなければならぬことは大変なことでした。

繊維会社に勤めて、はじめて与えられた仕事は生地の見本を作ったり、服のラベルを発注することでしたが、それにはまず生地の名前を覚えなければなりません。今迄、生地のことなどおおよそ無関心だった私にとって、何十種もあるそれらの生地は皆同じように見え

仕事というものは覚えるまでが大変で何度もいつになつたら失敗しないで自信を持てるようになるかしらと思ったりしましたが、ある程度まで覚えると今度は自分なりに工夫してみる余裕もできてきて、仕事のおもしろ味が判るようになりました。

また会社という所はいろんな人に知りあえるので、良い人生勉強も出来たと思っています。そしていつの場合でもそうですが、自分のためになることならどんなに小さな事でもどんどん吸収しようという気持が大切だと思いました。

忙しかった会社生活に終止符をうち、結婚して二年まだまだ未熟な私が今では一児の母となりました。わずか一年たらずで、立ったり、いたずらをしたり、わけの判らない言葉を発したり；子供の成長の早いのに驚いています。そして私も人並みに親バカを發揮していたずら一つにしても「あ：こんなこともする様になつたんだなあ；」と口では叱りながらも喜んで

いるのです。考えてみれば、奥様稼業もまた大変で、女性として、妻として、母としての勉強はいつまでたつても終りそうにありませんが、会社で得たいろんな経験を生かして、私なりに素晴らしい家庭づくり毎日米一杯尽くしてみようと思っております。

覚えたのも束の間、今度は課が変わりました新しい仕事を一から覚えなおしました。

お願い・連絡 アラカルト

秋の洛北散歩に

「参加下さい」

一期生の43年度クラス会は、十月七日(月)京都の古寺めぐりを計画しました。

お庭の美しい円通寺または詩仙堂、平家物語で有名な寂光院、三千院と、秋にふさわしい女人コースです。学生のころ副読本で読んであこがれていましたが、二十五年ぶりに実現です。ぜひ、お子様連れでご参加下さい。

十月七日 10時 国鉄京都駅東口 団体待合室集合

(大阪駅発9時7分の快速にお乗りください)
京都駅からはマイクロバスです。歩く所は少いですが、ハイキング気分の軽装でおねがいします。
費用——一、〇〇〇円(京都茶漬の昼食つき)の予定です。

休憩場所は、寂光院前雲居茶屋
電話山城大原一七

「い組の」方もどうぞご参加下さい。お待ちしております。
お申しこみは京都(〇七五)四六二—九二七二。中山へ

43年幹事 中山 光子

クラス会だより

(昭和二十三年卒業生)

昭和四十二年六月十二日

晴 入梅

卒業後初のクラス会

於 千日前新浅草にて

発起人 中島敬子

柳生和子(上田)

西沢先生、斉藤先生をお迎えして十七名のクラスメートが集り十九年ぶりの顔合せだが、さすがなつかしき学友乙女時代の親しさを忽ちにして取りもどし楽しき話に花が咲き近況や、子供達の事などなごやかな雰囲気うちにまたたく時間がすぎた。

またの再会を約束して散会。今年も六、七月頃クラス会を持ちたいと思うので一人でも多くの参加を希望して居ります。

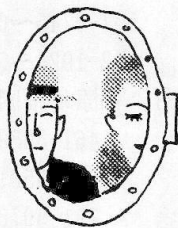
終戦後の事として住所不明の方々が多く結婚された方、住所変更の方また友達同士、ご存知の方はご連絡をお待ちして居ります。

連絡場所 大阪市東成区東小橋北

之町一丁目一七七番地

柳生 和子迄

TEL(九七三)一七〇七



旧師・現職の

先生方へお願い

いつも占春会のことを気にかけて頂いてありがとうございます。不束ながらやっと会報第一号を出すところまで成長いたしました。会報につき、また会のあれこれにつき、お叱り賜りたいと存じます。

このたびは総会のご案内を別にさしあげませんが、どうぞお子様づれで、お越し頂き、休日の新緑をいっしょにたのしみたいと存じます。おまち申し上げております。

なお旧職員の先生方、なつかしいおたより、ありがとうございます。懐かしいいっばいで掲載させて頂きました。

二十七年卒の方へ!!

前の名簿は会の方で手ちがいがあって、みなさまに買って頂けませんでした。そこで、お互いに住所がわからないまままで過してしまいます。

小さなグループでの集まりはあつても、みなさまに買って頂けませんでした。お互いに住所がわからないまままで過してしまいます。

新姓は藤浪

おところは岸和田市三田町588
上杉、今井

おみまい申し上げます

三十年卒の肥田正子さん(江崎)岸和田の火災で類焼の目にあわれましたが、ご家族はごぶじのよし不幸中の幸いでした。一日も早いお店の再建をお祈りします。

お所 岸和田市宮本町一九五
KK 大野屋

ただいま

クラス会計画中

二期生組では、この秋くらいぼつぼつ集ろうかなと考えています。

回期代表 中島智佐子
原 晶子

役員・回期代表会

お知らせ

五月一九日(日)総会の前、午後一時から、役員、回期代表会を行います。

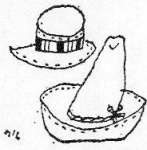
さきにごじぶんのクラスの名簿訂正用原稿をお渡ししてある方は整理のうえお持ちください。欠席して受け取っておられない方は、ご存じの範囲の住所氏名変更分をまとめてご持参ください。

来年は役員改選をひかえていますし、ことは名簿発行のため何かと多忙で、集まりがたびたび予定されています。

回期代表のご出席がない学年があると連絡がゆき届かず、全員が困りますので、万障おくりあわせおこし願います。

都合で回期代表を交替なさる方は新しい方とお二人でご出席ください。

(注) 回期代表には決った任期がありませんので、それぞれのクラスの事情で、一年交替でも、一人の方が何年継続して下さってもいいのです。ご出席可能な方にお願します。



役員・回期代表名簿

役名	卒業年度	氏名	住 所	電 話
会 長	20年	羽田 敦	寝屋川市豊野町25番2の303号	勤大広 202-1281
副会長	33年	阜山 玉子	大阪市生野区巽西足代町452	981-0220
書 記	34年	土井 章子	大阪市東区内平野町2の40	941-9543
	36年	尾松 豊子	藤井寺市藤井寺町576の18	
会 計	"	常平 淳子	川西市中央町4の1	
	38年	田中 富美江	八尾市久宝寺3丁目8の20	753-0851
	41年	管井 良子	大阪市生野区片江町6の73	757-9610
	40年	原 いづみ	東大阪市大字市場931の9	河内 61-5352 蝶理KK
	"	西角 順子	東大阪市河内町732の1	呼(松岡)7447 井上 東レKK
	"	藪田 厚子	八尾市末広町1の44	中外製薬KK
理 事	"	藤塚 香寿子	大阪市浪速区桜川2の1093	561-0745~6
	34年	森 義美	羽曳野市北宮60	712-1924~5
回期代表	37年	舟橋 京子	柏原市柏原652	7-0531 相原幼稚園
	20年	寺島 悦子	大阪市福島区吉野町1の121	461-5658
		松谷 照子	大阪市東住吉区田辺西の町6-1	622-3581
	21年	河合 聿子	東大阪市足代新町2の48	781-5970
	"	藤浪 町子	岸和田市三田町588	(0724)45-0131
	"	今村 加代子	東大阪市荒川1の60	721-8466~7
	"	山中 法子	八尾市山本高安町2の1	ノリ美容室
	23年	柳生 和子	大阪市東成区東小橋北之町1の177	ア ند ス美容室 972-1707
	"	中易 敬子	八尾市大蓮1689	721-5028
	24年	田仲 基子	枚岡市石切山荘	(0729)81-6555
	"	川村 恵美子	八尾市刑部166	日生大阪支店 762-1787
	25年	戸口 信子	大阪市西区南堀江通1の50	531-8690
	"	石川 麗子	大阪市城東区永田東4の106	961-7230
26年	福田 喜代子	東大阪市稲田1429	931-0570	
"	中西 明子	大阪市福島区上福島北3の90	451-4641	
27年	西田 美津子	八尾市久宝寺3丁目5の22	八尾(0729)22-8716	
"	長井 君江	八尾市山本町2の51	八尾(0729)22-3945	
"	津守 美智子	松原市立部町柏木	(0723)8-5537	
28年	伊藤 千恵	大阪市東住吉区湯里町1の128		
29年	中島 智佐子	東大阪市足代町1の6	721-0786	
"	中原 晶子	豊中市官山町1の77 テイジン豊中寮1階1号		
30年	有川 育子	八尾市山本町3の59		
"	前田 千恵	東大阪市菱屋西27		
31年	霧山 宜江	大阪市東住吉区平野流町30		
"	永田 靖子	大阪市東成区深江東6の10	761-0661~4	
32年	塚本 富貴子	大阪市東成区大今里南之町3の80		
33年	久保 順子	大阪府三島郡三島町千里ヶ丘3丁目6番10号	三和荘24号	
"	笹谷 富美子	横浜市戸塚区笠間町1287		
"	井上 百合子	大阪市生野区腹見町4の30		

34年	中山	ハツ	八尾市若草町2番4の113	
"	蟻川	幸代	八尾市八尾木907	
"	永岡	征子	堺市百舌鳥陵南町1丁目43の5	971-1131・9273
"	平岡	道子	八尾市久宝寺2304	
35年	西村	美智子	八尾市天王寺屋25	
"	長田	昭子	八尾市木ノ本203の156	
"	杉本	典子	奈良市二名町鶴舞団地17の207	
36年	広沢	良美	東大阪市坂井909	
"	佐々木	加代子	東大阪市足代新町1の3 今井様方	
"	柿木	保恵	大東市中垣内529	
"	福留	ケイ子	八尾市北本町2の58	
"	年増	登志子		731-8541呼
37年	藤原	竹子	大阪市東成区大成通3の24	
"	永田	明美	八尾市久宝寺2521 都ホテル	
"	寺川	恵美子	八尾市恩智310	
"	成田	洋子	東大阪市中新開459	
"	仲野	佳世子	大阪市東成区南道町3の73 中道荘	
38年	谷口	優子	東大阪市河内町932	
"	川上	圭子	東大阪市日下町1092	
"	片山	嘉子	八尾市山本町北5の102	(0729)61-3665
"	片岡	信子	東大阪市玉井97の1	
"	中野	伸子	八尾市小阪合町3の47	
39年	家路	絹子	八尾市東本町2の125	
"	新	清子	柏原市高井田633	
"	府中	絹子	大阪市天王寺区空清町2の11	
"	北口	昌代	東大阪市石切町478	
40年	月野	木靖子	東大阪市稲葉3丁目10の22	
41年	前田	芳子	大阪市東住吉区加美神武町2の29	791-9660
"	柿本	恵子	八尾市柏村123	22-2669
"	岡田	ますみ	八尾市本町4の37	
"	森田	敦子	高槻市栄町22の9	勤 日本化薬KK
42年	岩原	むつみ	八尾市光南町2の61	758-1763
"	永井	貞子	大阪市生野区巽矢柄町251	22-8882
"	大内	美代子	八尾市刑部475の1	22-9325
"	大辻	本悦子	八尾市南本町2の76	
"	岸川	ゆき	八尾市緑ヶ丘1の72	4-6131
"	佐野	洋子	八尾市恩智237	
43年	足立	節子	八尾市恩智380	檜山KK
"	鳥居	みち子	八尾市宮町3の87	蝶理KK
"	鳥居	芳子	東大阪市旭町18番45号	
"	宮田	益美子	大阪市東住吉区長吉出戸町1 府営住宅63号	樟蔭短大
"	藤井	豊子	八尾市植松町7丁目7番22号	三井物産
"	土橋	久美子	八尾市北久宝寺2丁目2の52	

名簿作成にご協力を!!

四二〇名が蒸発?

ことし、会としての事業は会報発行後会員名簿の作成一つに全力を集中します。

(三九年発行の分は、訂正また訂正で余白がないくらいになりました、購入のお申し込みがあったら、お願ひできない状態です)

会報の最後に「たずねびと」欄をもうけて行方不明者のお名前をならべました。目をとおして下さってお知らせの方がありません。なお改氏名はもちろんのこと、各地区で地名変更が行われていますが、お手数ながらそのつど、占春会あてお知らせください。

新名簿の印刷には最低約二十五万円かかります。各学年で広告集めと売りさばきにご協力ください、一〇〜二五冊になります。お値段は総会までに決まるはずですが、総会の際に予約を承ります、ふるって買い上げのほどお願いします。

お願い

私の身にもなつて!!

みなさん「PTAならしようないが、占春会にはちよつと失礼しようかしら」のお気持がありがたいような気がします。

私も勉強ということ、羽田さんはじめ皆さんから書記を仰せつかりました。書記の先輩土井さんに教わりながら仕事をしていますが、一番かなしくってせいのないことは、総会でも、役員会でも一生けんめいご通知をさしあげるので、ご出席の少いことです。どなたもご多忙なのはよくよくわかってはいますが、いま中心になってあるスタッフだって、決して人様よりヒマのある方とはみえないメンバーばかりだと思えます。

みなさん「PTAならしようないが、占春会にはちよつと失礼しようかしら」のお気持がありがたいような気がします。

私たち自身のものである占春会の集いをもっと楽しく有効に運営するため、会員ひとりひとりの考えをもっと集結し、反映させる必要があると思います。

先輩のみなさま方、後輩のみなさま方、私たちの会をもっとイキイキした会にするためにふるってご出席ください。

封筒の宛名を書きながら溜息しなくてもすむように……

次の総会・役員会にはおさそいあわせおこしくくださるよう、切にお待ちいたします。

書記一同

会報発行によせて

前会長 稲部 恭子

「目に青葉山ほととぎす初がつを」早や新緑の頃となりました今日此の頃、希望の占春会々報が発刊されるとの事、心より喜び申し上げますと同時に卒業しましてより二十余年の歳月が流れていることに気付き、いたい程身にしてみるおもいです。

創立早々の二期生として大東亜戦争の戦火の中を通学し、一期生の方達とは喜びも悲しみも分ち合って本当に一体となつてすべてのことに取りくんで参りました。一

昭和42年度決算表

収入の部		支出	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越	75,337	総会費	19,155
入会費及び会費	302,400	卒業生記念品費	36,360
預金利息	924	通信費	60,448
		印刷費	22,900
		役員会合費	9,630
		基本金積立費	20,000
		行事補助費	82,215
		涼納(講消)バス謝品	6,500
		雑予弔	0
		備慰金	0
		次年度繰越金	7,500
		合計	113,953
合計	378,661	合計	378,661

(八頁よりつづく)

中本 毅先生

「春一番」を迎え、いよいよ新春が来たと、嬉しく張切る気持ちがしております。春が一番好きです。春になると土いじりができ、可愛いがつてやればやる程、反応して育ってくれ、心の交りが深まって行きます。

年度始めと共に、また一年頑張りたいと思っております。懐しの清友高校の生徒さんを車中で見て、昔時を想い出しています。皆々様、益々ご多幸でありますようお祈りします。

住所 八尾市末広町三丁目十二
勤務先 大阪市立扇町第二商業高校

足立せい子先生
(旧池上)

研究所というほど、大げさなものではありませんが、主人や、若い人と共に、主に「インテリヤ」や、「クラフトデザイン」の仕事少々やっています。

今年の夏か秋には、手描きさらさらの教室を開こうかと、計画中です。

本人はあいかわらず、縦にも横にも、面積体積ともに、ふえておりません。気持も変っていないつもりです。

また、こちらの方面にお出かけの折には、おたちより下さい。

住所 大阪市阿倍野区桃ヶ池町二丁目五一一八
勤務先 アトリエ・アダチ・デザイン研究所

花井 隆子先生

陽光もうらかな、良い季節になってまいりました。

学校も学期末で、毎日忙がしいばかりで心ならずも失礼いたしました。私もお蔭さまで、甲子園球場の近くにあります。県立鳴尾高校に一つとめてもう十五年になりますが、元気でつとめて居りますからご安心下さいませ。

自宅は前と同じ布施にございますのでおたちより下さいませ。皆様におよろしく。

たづねびと!

住所不明者氏名

・下記の方は会からのお知らせをお送りしても戻ってきません。ご消息ご存じの方は母校内古春会、または回期代表までおしらせ下さい。

また改姓・住所変更されました際も、必ずご通知下さいますようお願い致します。

・ここに掲載はしていませんが、中学卒の方はほとんどが、卒業当時の住所・氏名のままになっています。至急ご連絡下さい。

- ・20年卒
 - 高浦 房子
 - 高松 恵美子
 - 津田 正子
 - 手島 和子
 - 寺尾 敦子
 - 中村 照子
 - 林 理子
 - 深野 慶子
 - 福井 多賀子
 - 嶺田 弥栄
 - 八島 裕子
 - 横田 恵美子
 - 松田 和子
 - 村上 静子(富川)
- ・21年卒
 - 井上 栄子
 - 飯田 悦子
 - 岩崎 和子
 - 岡田 千恵子
 - 岡村 多美子
 - 大本 敏子
 - 小川 幸子
 - 藤井 恵子(梶川)
 - 小森 聿子
 - 山田 千代子(小村)
 - 荒鎮 一子
 - 坂口 恵美子
 - 高橋 和子
 - 竜田 和子(田中町子)
 - 津田 幸子
 - 寺前 千鶴子
 - 小野 幸子(中野)
 - 中村 美津子
 - 西脇 節子
 - 野田 保子
 - 灰山 比佐子
 - 畠山 英子
 - 平尾 和子
 - 織田 登代子(富士野)
 - 茂苺 歌子(坊中)
 - 松本 光子
 - 松尾 テル子
 - 応治 幸子(本宮)
 - 山中 清子

- 和田 栄子(梅原)
- 横田 昌子
- 湊 馨
- ・22年卒
 - 板倉 良子
 - 林 文子(木田)
 - 清水 寛子
 - 辻 真佐子
 - 政田 富士子
- ・23年卒
 - 井上 節子
 - 藤井 哲子(今出)
 - 石崎 晃
 - 石津 常子
 - 塚原 光子(岩下)
 - 上 俊子
 - 小畑 久枝
 - 川端 フキ子
 - 小林 幸
 - 小西 安子
 - 徳田 美子(高坂)
 - 佐々木 繁子
 - 山村 吉子(杉井)
 - 杉本 勝子
 - 藤本 蓉子(関)
 - 森田 慶子(高井)
 - 高松 千鶴子
 - 大久保 永子(中西)
 - 中西 ススキ
 - 中辻 サワ子
 - 中辻 ハマ子
 - 中島 ひで
 - 野神 慈子(長井)
 - 山崎 八重子(南賀)
 - 片山 和子(西脇)
 - 松下 邦子(西田)
 - 船越 昭子
 - 増木 美代子
 - 三宅 治子
 - 村井 美代子
 - 麦野 照子
 - 村林 照子
 - 安井 睦子
 - 辻 加洋子
 - 山崎 つる子

- 吉川 ハツ子
- 淀井 秦子
- 和田 園子
- 周防 喜美子
- 畠中 住子
- ・24年卒
 - 藤村 章子(井上)
 - 榎 静江
 - 塩野 弘美
 - 岡村 信子
 - 猪股 敏子(勝田)
 - 木下 明子
 - 正野 すみ子(佐野)
 - 橋本 勝恵(杉本)
 - 樽井 恵美子
 - 中島 智恵子
 - 長沢 幸子
 - 増田 喜美子
 - 藤井 弘子(松井)
 - 浅井 富子(松村)
 - 山中 年子
 - 米倉 淳子(山本)
 - 広岡 敏子(横山)
 - 吉田 富美子
 - 小林 美智子(金田)
 - 森川 喜久子
 - 寺 弘子(山敷)
 - 片岡 貞子
 - 山本 靖子
- ・25年卒
 - 大東 清子(川本)
 - 中西 志津子
 - 服部 千恵子
 - 堀内 照子(山口)
 - 山口 治子
- ・26年卒
 - 岩見 頼子
 - 岡本 幸子
 - 中村 雅子
 - 井村 トミ子
 - 清水 智恵子
 - 高味 澄子
 - 谷川 厚子
 - 岡田 貴美子(寺田)
 - 茶 弘栄子

- 木谷 些与子(中村)
- 宮崎 祥子(藤原)
- 大西 寿美子(兵藤)
- 土種 秀子(本多)
- 有本 勝子(前葉)
- 村岡 加代子
- 室田 浩子
- 上田 サカエ
- 坂内 喜久子(守友)
- 巽 政子(山敷)
- 山中 幸子
- 山本 寿子
- ・27年卒
 - 岡本 桂子
 - 中村 康子
 - 小山 弘子(松本)
 - 安宅 弥生(門野)
 - 黒住 真佐子
- ・28年卒
 - 上田 順子
 - 大島 靖子
 - 池原 静子(金田)
 - 勝根 美也子
 - 君崎 美喜子
 - 坂本 和子
 - 清水 澄子
 - 中村 牧子
 - 中井 明子(中辻)
 - 飯野 絢子(蟻川)
 - 米山 美代子(東田)
 - 野瀬 喜久子(逸見)
 - 田辺 方子(好崎)
 - 土谷 京子(吉田)
 - 吉本 武子
 - 戸村 記子
 - 橋本 啓子
 - 増田 豊子
 - 栗原 貞子(松島)
 - 高見 友枝(村上)
- ・29年卒
 - 川原 誉子
 - 空閑 芳枝
 - 西浦 清子(佐々木)
 - 梶原 明子(清水)
 - 末宗 孝子

妙中節子
 長山和恵
 西植美津子
 長谷川幾代子
 畑中和子
 三浦奈美栄子
 森川繁子
 吉村文子
 岡本重子
 川本裕子
 鋤木一子
 畑中通子
 広原久子
 山本美年子
 吉村悦子
 横井睦子
 ・30年卒
 青木千恵子
 安波久子(植山初子)
 小野美代子(亀井)
 松井達子
 石田明美(佐藤)
 園英子
 筒井マ子
 日高弘子
 森田真希子
 後佐恵子
 中村伊佐美(北谷)
 小松幸子
 小西田艶子
 山本佳津子
 ・31年卒
 横田民子(伊堂寺)
 伊地知京子
 志水高子
 隅田幸子
 山田文子(中島)
 菽田寛子
 松本典子
 六車美智子
 野西美宝子

本塚清子(岡本)
 霧山宣江
 田島由美子
 椿ヒロ子
 吉松陽子(藤田)
 松井和子(松本)
 松岡好美(松本)
 藪田末美
 ・32年卒
 井口八重子
 浜田富久子
 湊喜代子
 山本トク子(八木)
 栗栖恵美子(横田)
 坂本美代子
 三浦啓子
 宇賀澄子
 ・33年卒
 近藤浩子(山田)
 井上敦子
 下西芳子(井上)
 佐藤桂子(戸羽)
 上長加代子(八嶋)
 今中弘子
 岩崎暁子
 尾近静子
 河端富美子
 竹田英子
 西野伸子
 水元千春子(吉田)
 小泉和子
 ・34年卒
 大谷巴子
 岩城一栄
 岩崎加代子(森内)
 ・35年卒
 東条繁代子
 西本敏子
 向山芳子
 木村順子
 酒井操

島本和子
 野崎文枝(佃)
 村田ゆき子(守村)
 山村君子
 山本悠美
 岩城美弥子
 八尾エミ子(梅田)
 北野孝子
 川村久子(田中)
 田村洋子
 村田康子
 山口恭子
 吉田節子
 ・36年卒
 稲葉純江
 伊藤佐知子
 西田純代(寺内)
 大関和美
 小泉和子(吉田)
 松田孝子(乾)
 年増登志子(小野)
 ・37年卒
 居波よし枝
 鯉江紀子
 小谷初穂子
 馬谷芳子(時野)
 高島徳代子
 中村あつ子
 東山幸子
 吉住敏子
 内藤瞳(川村)
 佐藤道代
 仲島由美子
 岡山佳代子
 上田佐智子
 ・38年卒
 小林かをる
 中田富美子
 水野二佐枝
 石原弘美
 村美佐子

真田礼子
 福田美代子
 有森八重子
 常見安子
 広原美和子
 箕島信子
 ・39年卒
 赤井豊美
 名取小夜子
 増岡美恵子
 藤岡彰子
 新清子
 浜田美智子
 辻内理恵子
 野中ヒサ子
 毛利恒子
 迫田美千代(山本)
 杉本美佐子
 高田朝子
 高橋定子
 高橋貞子
 田口美江
 ・40年卒
 井上民子
 重岡公子
 清水頼子
 宮田保美子
 森部和子
 青木蘭子
 大江登志子
 中山百合子
 井本節子
 南上悦美子
 佐部優照子
 ・41年卒
 森下朱美子
 重松幸子
 ・42年卒
 田中清美

編集後記

ようやく待望の第一号発行にこぎつきました。一同不馴れなことではあり、多忙な時期でもありましたが、不十分な点は多いのですが、今はただ「できた」という嬉しさでいっぱいです、

「清友だより」「クラス会お知らせ」などに原稿をお待ちします。絵のお好きな方はカットを、また企画、ご意見、ご希望などをどんどんお寄せください。

次号は来春ですが、編集に興味をお持ちの方や新聞部で活躍しておられた方は積極的に協力願いたいので、お申出ください。

・会のご通知發送のたび「宛先に見当らず」で返送されるものが多くて、学校の事務所にはずかしいくらいです。改姓・住所変更、住居表記変更はすぐご連絡願います
 会報二ページをさき、送料五円をよぶんにくめんして、行方不明者の欄をもうけました。ご存じの方があればお知らせください。

最後に——あいまかわらず西沢先生に甘えて、多分にメンドウを見て頂いてやっと完成したことを白状しながら。

戸口・土井・管井・長原